

平成22年度私立学校初任者研修 小学校（東日本地区）研修会実施概要

本年度の私立学校初任者研修小学校（東日本地区）研修会が、8月3日（火）から5日の3日間、O V T A（海外職業訓練協会研修センター）で開催された。北海道から東京まで、東日本各地より、43名の初任者教員が受講した。



初日は、日本私立小学校連合会事務局長でもある元聖徳学園小学校校長、園田達彦氏の講演「考える力を育てる授業－脳科学に学ぶ－」に始まり、前成蹊小学校校長、岡崎忠彦氏による実習と懇談「子どもの声が聞こえますか」へと続いた。

2日目の午前中は、元全日空整備本部教育訓練部チーフインストラクターである中村勝充氏を迎えて、「企業研修から

学ぶ」をテーマに、講義と実習を行った。前日の岡崎氏の実習と同様、受け身の講義ではなく、実際に他者とのコミュニケーションをとる実習であった。

午後からは、動きやすい服装に着替えて和室へ移動してのリクレーション講習が行われた。講師は健康リクレーション研究所主宰、山田征夫氏で、巧みな話術で受講者を惹き付けた。

夜を迎えても研修会は続く。夕食後の午後6時半から2時間にわたって自由討議が行われ、受講者たちは時を忘れて、教室での日々の悩みや問題点などを議論しあった。



最終日。武蔵野東小学校教頭、市川智氏による講演「多様な子どもにどうかかわるか」を最後に、3日間の研修を終了した。

（高山博通）